

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価結果表

事業所名 (特非)発達支援ネットワークつむぎ つむぎ高梁

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点 改善目標	それを踏まえた対応
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	3			現在は各訓練室ごとに活動を振り分けて過ごしています。利用者様の増加に伴い、定期的に再構造化を行いながら適切なスペースの確保に努めていきます。
	2	職員の配置数は適切である	3	1			保育士・社会福祉士等の資格を有したものが支援を行なっています。職員の体制は指定基準より多い配置となっています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2	1		椅子の高さ調整の為に足置きを設置する等、工夫しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1			現在第三者による外部評価は実施していません。療育については川崎医療福祉大学の諏訪先生に巡回指導に入っただき指導、アドバイスをいただき、改善を図っています。

適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			定期的に職員学習会を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の学ぶ機会として、法人内の学習会を行っています。また、事業所内でも月に1回ケース会議を実施し、支援のねらいや目標の共有等を行っています。 ・法人内の各事業所の管理者の視察アドバイスの機会を設けています。 ・本部より他法人の研修が掲示され、自己啓発に活用できます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1			支援計画をもとに各スタッフがご利用児様に合わせた活動・課題を検討し、行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1	3			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	2			ご利用者様への支援の役割分担につきましては運営ボードで確認ができるようにしています。今後も引き続き確実な情報共有の場を確保していきたいと思っております。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	3		その日に振り返りの実施はできていないが、気付いたことはチーフ・マネージャーに報告している。	上記同様の取り組みとなります。日々職員間で特記事項については都度共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	3				
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	2			サービス担当者会議には管理者をはじめ、様々な職員が参画している。事前に書類等を準備し、情報の共有を行っています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	1			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					現在ご利用はありません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3			移行時期（入学）には児童発達支援が参加している移行支援会議に参加します。ご本人様に関係する多くの関係者の方と情報共有を行います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3			現在ご利用はありません

この連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1		3	地域との交流の機会として現在、こども食堂の開催予定です。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1		自立支援協議会の児童部会に法人本部のマネジャーが参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			
保護者への関	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4			年に1クール実施している。 1クール6回のペアレントトレーニングを年に1回行っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			保護者様向けの座談会は年5回開催予定とし、保護者同士が話し合える場を提供しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			

説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4				
	35	個人情報に十分注意している	4				・十分に注意していますが、申し送り時に混雑した場合にはご報告の内容が聞こえてしまうことがあるようです。場所の検討や声の大きさの調整を行います。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	1	3			
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4				保護者様には契約時に確認を行っています。また必要時にはメールにて配信しております。職員は支援会議等で定期的にマニュアルの確認を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				非常時に際して防災バックの準備や月に1回（月～土曜日すべて）定期的な訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4				契約の際に身体拘束を行わないことを約束しています。アセスメントを受けて緊急性が高い場合に身体拘束について検討の必要がある際には保護者の方へご報告、ご相談をさせていただくようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3			アレルギーについては保護者の方に確認し、職員が確認できる管理表を作成しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				実際のヒヤリハット報告書は保管しています。また各事業所内で情報や手立ての共有をしています。

|